

比較文化論

No.36

日本比較文化学会第40回全国大会
2018年度日本比較文化学会国際学術大会
発表抄録

於 高知大学

2018年5月18日（金）～20日（日）

日本比較文化学会

The Japan Association of Comparative Culture

（共催）

高知大学

台湾日本語教育学会

（後援）

在大阪インドネシア共和国総領事館（依頼中）
〈公財〉高知県観光コンベンション協会

（海外提携学会）

韓国日本文化学会 台湾日本語文学会
村上春樹国際研究センター（淡江大学：台湾）

第 40 回 日本比較文化学会全国大会
2018 年度日本比較文化学会国際学術大会

<日時：2018 年 5 月 18 日（金）>

会場：高知市中央公民館（カルポート 10F 工作室）

15:00～16:30 編集委員会

16:30～18:00 理事会

18:15～21:00 海外理事との交流懇談会（高知駅周辺）

<日時：2018 年 5 月 19 日（土）>

会場：高知大学 共通教育 3 号館 3 階（シンポジウム以外は、全てこの建物の 2・3 階）

8:50 受付開始

共通教育 3 号館 3 階（335）

9:15～10:45 総会及び理事会（同上）

11:00～12:10 基調講演（同上）

講師：インドネシア総領事（大阪）

演題：インドネシアから日本をみると（仮題）

司会：奥村 訓代（高知大学）

12:15～13:30 昼食：大学生協の食堂が営業中
（理事の昼食会場は、共通教育 3 号館 3 階（333））

13:30～16:15 研究発表 共通教育 3 号館、2・3 階

研究発表会場には、研究発表用の機器が設置されており、パワーポイントなどの使用が可能です。ハンドアウトは 30 部ご用意しています。

第 1 会場 321 教室 ・ 第 2 会場 322 教室

第 3 会場 324 教室 ・ 第 4 会場 325 教室

第 5 会場 331 教室 ・ 第 6 会場 332 教室

第 7 会場 334 教室 ・ 第 8 会場 335 教室

第 9 会場 333 教室

（323・R333 は休憩室です。飲料・菓子などを用意しています。）

16:30～17:45 シンポジウム 「比較文化の手法」 共通教育 2 号館 2 階（222）

※各パネリストの発表時間は 8 分です。

司会・パネリスト

藤岡克則（大阪産業大学）

パネリスト（中四国支部・九州支部代表） 藤山和久（広島経済大学）

パネリスト（韓国日本文化学会代表） 都基弘（同学会学術理事・Hanbat 大学）

パネリスト（台湾日本語文学学会代表） 范淑文（同学会副理事長・台湾大学）

パネリスト（東北支部・関東支部代表） 森崎巧一（京都経済短期大学）

パネリスト（中部支部・関西支部代表） 白鳥絢也（常葉大学）

18:00～20:00 懇親会

会場：高知大学生協 2 階 共同談話室

会費：4,000 円

準備の都合がありますので、お手数ですが、ご参加いただける方は5月10日（木）までに会費を次の銀行口座にお振り込みくださいますようお願い申し上げます。多くの方のご参加をお待ち申し上げます。

【振込先】

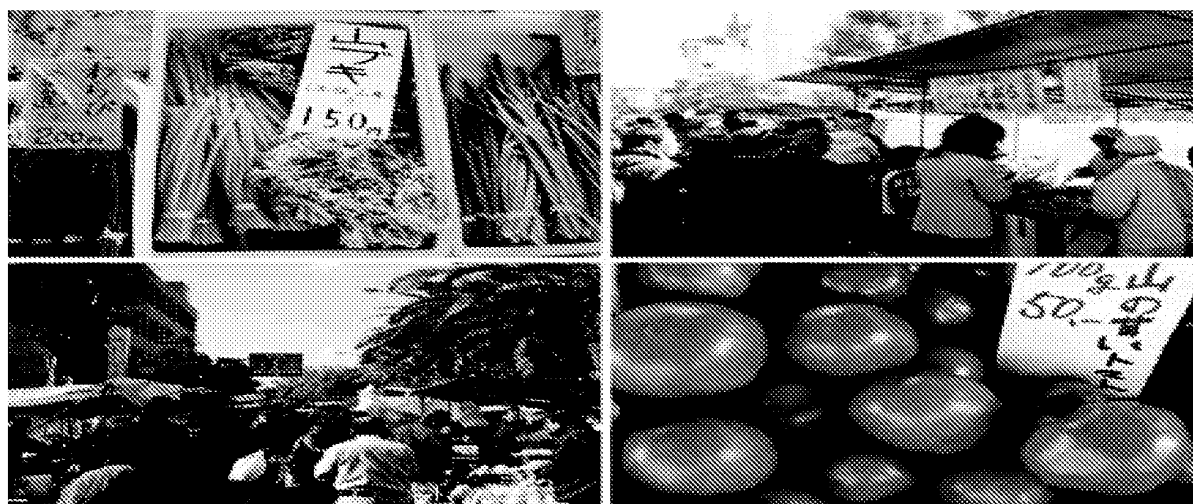
銀行名：四国銀行
支店名：朝倉支店
種目：普通預金
口座番号：5149102
口座名義：日本比較文化学会中国・四国支部
店番：102

<日時：2018年5月20日（日）>

（希望者のみ）

エクスカージョン：高知の「日曜市見学」（7:00 から 16:00）

「元禄3年（1690年）以来、300年以上の歴史を持つ土佐の日曜市。年末年始とよさこい祭り期間を除く毎週日曜日開催されています。4月から9月は午前5時から午後6時まで、10月から3月は午前5時30分から午後5時まで、高知のお城下追手筋において、全長約1300mにわたり、約420店が軒を並べています。新鮮な野菜や果物はもちろん、金物、打ち刃物、植木なども売られており、市民と県外からの観光客などもあわせると1日に約17000人が訪れる生活市です。（高知市HPより）



【シンポジウム：「比較文化の手法」】 (会場：R222:共通教育2号館2階)

(パネリスト発表論題一覧)

16：30～17：45

司会：藤岡克則（大阪産業大学）

(1) グローバル化の時代における比較文化学の役割

藤岡克則（大阪産業大学）

(2) 高専生と私立大学生の英語学習に関する意識の比較
—インタビュー調査を通して—

藤山和久（広島経済大学）

(3) 世界の学校文化を楽しむ
—比較教育学の視点から—

白鳥絢也（常葉大学）

(4) 人の印象情報を用いた科学的なデザイン分析手法（印象評価法）の普及とその可能性
森崎巧一（京都経済短期大学）

(5) 日韓のお膳における食具の配置について
—相違点を中心に—

都基弘（韓国日本文化学会学術理事・Hanbat 大学）

(6) 文学作品にみる食文化
—漱石文学&村上文学—

范淑文（台湾日本語文学会副会長・台湾大学）

【研究発表】

ポスター発表：323 教室

12：15～13：30、

および 15：00～15：15

浅井了意における『妣吉録』の受容 ―仏教との関係を中心に―

董航（お茶の水女子大学博士後期課程）

【研究発表】

第1会場：321 教室 <文学研究領域>

(司会：佐藤和博 弘前学院大学)

1. 13:30～14:00

土日自然主義文学作品に見られるガヴァネス

—『地獄の花』とMurebbiye (家庭教師)の比較を中心に—

コチート ズハル (筑波大学大学院博士後期課程)

2. 14:00～14:30

日本文化に見る漱石の漢文学

呉雪虹 (高雄市立空中大学:台湾)

3. 14:30～15:00

村上春樹文学における自己と他者との対話

葉菱 (淡江大学:台湾)

休憩 (15:00～15:15)

(司会：北林利治 京都橘大学)

4. 15:15～15:45

「魂」が惹かれあう？

—ギリシア哲学とロマン派運動から村上春樹の『1Q84』と新海誠の『君の名は。』まで—

横道誠 (京都府立大学)

5. 15:45～16:15

エコフェミニズムの視点から読む『チェルノブイリの祈り』

—チェルノブイリと福島から発信する平和への対話に注目しつつ—

曾秋桂 (淡江大学:台湾)

【研究発表】

第2会場：322教室 <文化と社会研究領域>①

(司会：伊藤豊 山形大学)

1. 13:30～14:00

小原豊雲とプリミティヴィズム-いけばなの取り組みから

篠原華子 (筑波大学大学院博士後期課程)

2. 14:00～14:30

神谷美恵子の活動と業績

野田晃生 (筑波大学大学院博士後期課程)

3. 14:30～15:00

日本国内カトリック系組織の外国人児童生徒への多文化教育の関わり

—カトリック新聞とCTICニュースレターの文献考察を基に—

奴久妻駿介 (一橋大学博士後期課程)

休憩 (15:00～15:15)

(司会：林祐二 西南女学院大学)

4. 15:15～15:45

一般・救護施設比較による生きがい感調査研究

藤渕明宏 (救護施設ひびき園指導員)

5. 15:45～16:15

ベルギー・フランドレンの文化政策における「インターカルチュラリズム」の受容

井内千紗 (国際短期大学)

【研究発表】

第3会場：324 教室 <文化と社会研究領域>②

(司会：近藤俊明 東京未来大学)

1. 13:30～14:00

クリント・イーストウッド西部劇に関する一考察
—『グラン・トリノ』のマイノリティー表象を中心に—

深津勇仁 (慶応義塾大学大学院博士後期課程)

2. 14:00～14:30

高等学校応援団の演舞に関する研究
—伝統校の身体動作における儀礼的要因の分析—

岩崎智史 (東京未来大学)
金塚基 (東京未来大学)

3. 14:30～15:00

「自然共生社会」規範の伝搬に関する研究 —生物多様性への取り組みを事例として—

横田匡紀 (東京理科大学)

休憩 (15:00～15:15)

(司会：砂川典子 九州ルーテル学院大学)

4. 15:45～16:15

クィア・ゴシックの視点で読む Reflections in a Golden Eye の映画アダプテーション
『禁じられた情事の森』

岩塚さおり (名城大学)

5. 16:15～16:45

文章・談話のスタイルに対する、メディアを踏まえた分類試案

大谷鉄平 (長崎外国語大学)

【研究発表】

第4会場：325 教室 《英語研究領域》

(司会：山崎祐一 長崎県立大学)

1. 13:30～14:00

初級英語学習者の文産出促進のための指導法に関する提案
—制限英作文における主語の設定を中心に—

橋尾晋平 (同志社大学大学院博士後期課程)

2. 14:00～14:30

Is Karate Useful for Daily Life?
— A Study on Sri Lankan Karate Practitioners' Awareness

Petra Karlova (Waseda University)

3. 14:30～15:00

How Cultures Shape Our Preferences and Values:
A Study on Young Females Living in Japan and Brazil

Takayo Sugimoto (Aichi University Junior College)

Narumi Hashimoto (Aichi University Junior College)

休憩 (15:00～15:15)

(司会：中村友紀 関東学院大学)

4. 15:15～15:45

日本人大学生英語学習者の発話する英語母音について

高橋栄作 (高崎経済大学)

5. 15:45～16:15

体育会系学生への英語指導改善への道筋
—アメリカ大学における体育会系学生教育との比較を通して—

細江哲志 (横浜商科大学)

白須洋子 (横浜商科大学)

東本裕子 (横浜商科大学)

清水スタンボーク恵子 (横浜商科大学)

【研究発表】

第5会場：331教室 <日中研究領域>

(司会：神崎明坤 西南女学院大学)

1. 13:30～14:00

漢字についての認知的日中文化対照研究
—植物に関する漢字を中心に—

段静宜 (関西外国語大学大学院博士後期課程)

2. 14:00～14:30

広東語と日本語の比較の試み

周聖來 (アーキヴォイス横浜校・スクール長)

3. 14:30～15:00

近代日本における「支那庭園」の認識
—後藤朝太郎の言説を中心に—

周堂波 (大阪大学大学院博士後期課程)

休憩 (15:00～15:15)

(司会：山下明昭 香川大学)

4. 15:15～15:45

メタファーによる説得力に関する一考察
—日中公共広告表現の比較を通して—

黄琬諭 (同志社大学大学院博士前期課程)

5. 15:45～16:15

疎開学寮教師の心情
—北京日本人学校教師小川一朗のその後、未刊歌集の紹介を中心に—

向野正弘 (向野堅一記念館館長・埼玉県立所沢西高校)

【研究発表】

第6会場：332 教室 《日韓研究領域》

(司会：八尋春海 西南女学院大学)

1. 13:30～14:00

韓国の大学における日本語学習者の日本及び日本人のイメージ
—日本語・日本関連専攻者と非専攻者の比較—

金元正 (九州大学大学院博士課程)

2. 14:00～14:30

韓国と日本における「多文化の子ども」への教育支援に関する考察

申芸花 (九州大学大学院博士後期課程)

3. 14:30～15:00

在朝鮮日本人の映画活動に関する研究
—1910年代の京城を中心に—

朴起範 (関西大学大学院博士後期課程)

休憩 (15:00～15:15)

(司会：山内信幸 同志社大学)

4. 15:15～15:45

複合動詞から見た日本文化

李暉洙 (韓国放送大学：韓国)

5. 15:45～16:15

「断り」における冒頭発話の意味公式分析
—日本語母語話者とインドネシア人スダ語母語話者の比較—

ノフィア・ハヤティ (金沢大学院生)

【研究発表】

第7会場：334教室 <地域社会研究領域>

(司会：金志佳代子 兵庫県立大学)

1. 13:30～14:00

準正課教育における防災教育の実践—社会的汎用能力の養成の観点から

藤巻 晃 (徳島文理大学)

桃井克将 (徳島文理大学)

多田一子 (徳島文理大学)

藤本正己 (徳島文理大学)

2. 14:00～14:30

日本語教科書から学ぶ防災対策

—日本語学習者が学ぶ日本語と防災—

公文素子 (高知大学)

3. 14:30～15:00

多文化「共創」社会に求められる人材

—不動産業界の留学生活用事例についての一考察—

郭潔蓉 (東京未来大学)

休憩 (15:00～15:15)

(司会：奥村訓代 高知大学)

4. 15:15～15:45

地域文化の振興と消費活性化を目指して

—新たな魅力発信に向けた取り組み—

関口英里 (同志社女子大学)

5. 15:45～16:15

地域連携による「英語で交わる街づくり」の活動を通じた異文化共生と市民の英語力改善の取組

山崎祐一 (長崎県立大学)

【研究発表】

第8会場：335《海外論研究領域》

(司会：佐藤静 宮城教育大学)

1. 13:30～14:00

ドイツの学生歌「ランデスフアーター」とフリーメイソンリー

五十棲愛璃乃 (京都外国語大学大学院博士後期課程)

2. 14:00～14:30

19世紀におけるドイツ教養市民層の名誉と決闘

菅野瑞治也 (京都外国語大学)

3. 14:30～15:00

オーストラリアの高等教育システム改革期における大学副学長の思想と実践

澤田敬人 (静岡県立大学)

休憩 (15:00～15:15)

(司会：澤田敬人 静岡県立大学)

4. 15:15～15:45

インターンシップに関する政策的言説とその実践

一文藻外語大学の実践例を中心に

董莊敬 (文藻外語大学：台湾)

5. 15:45～16:15

台湾における日本語とその表現文化の機能

—海外文化に対するグローバル化の成功事例として—

落合由治 (淡江大学：台湾)

【研究発表】

第9会場：333《海外論研究領域》

午後3時までは、休憩室として使用します！

休憩（15：00～15：15）

（司会：梶原雄 同志社大学）

4. 15：15～15：45 8

日系ブラジル人のネットワーク活動が帰属意識に与える影響研究

林永彦（全南大学校：韓国）

金泰永（江陵原州大学校：韓国）

5. 15：45～16：15

『春』の基本構造

林盛奎（白石大学校：韓国）